

地域密着型金融への取組み

地域密着型金融の位置付け

当行は地域密着型金融を地域金融機関として恒久的に取組むべき課題であると認識し、中期経営計画においても、その考え方を踏まえて各種施策を策定しております。

平成27年度からスタートした中期経営計画『考動と開革Ⅱ 27-29』では、「地方創生への積極的な関与」「お客さま満足度の向上」「地域と当行の将来を担う人財の育成」という3つの基本方針のもと、急速な少子高齢化や人口減少などの環境変化に的確に対応し、お客さまとの関係や地域との連携を強化することにより、「お客さまの明るい未来と活力あふれる地域を創造する銀行」を目指してまいります。

地域密着型金融の具体的な取組み

1 お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

- (1) 創業・新事業支援 (2) 成長段階における支援
- (3) 経営改善・事業再生支援 (4) 事業承継支援
- (5) 専門人材の育成

お取引先企業のライフステージに応じた経営課題を的確に把握するとともに、最適なソリューションの提案やコンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

また、行内外での研修の充実や専門人材の育成によって行員の目利き能力の向上を図ってまいります。

事業承継支援

■ 平成27年7月 とりぎん事業承継セミナー

経営者の高齢化や後継者不足が重要な経営課題となっているなか、事業承継に関するニーズにお応えするため、外部専門家と連携し、事業承継に関するセミナーを開催いたしました。



2 地域の面的再生への積極的な参画

- (1) 地域における「産・官・学・金・労・言」連携の強化と地方創生への積極関与
 - (2) 地域の成長産業や特定分野に対する支援
 - (3) 地域活性化につながる取組みの推進
- 地域の産業界や行政、教育機関等との連携を強化し、地方創生に向けた取組みへ積極的に関与してまいります。
- また、医療・介護等の地域の成長産業や特定分野に対する支援を推進していくとともに、地域経済や地域社会の活性化につながる取組みを積極的に展開し、地域の面的再生を目指してまいります。

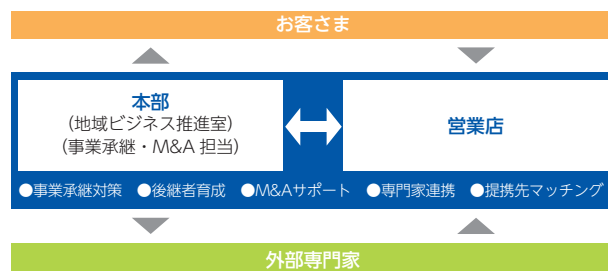
3 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

- (1) ディスクロージャー誌及びHPへの掲示
 - (2) 地元会社説明会での説明
- 当行の地域密着型金融に係る取組みについてご理解を深めていただくため、お客さま目線に立った分かりやすく、かつ積極的な情報発信に努めてまいります。

計数目標と進捗状況

項目	債務者区分 ランクアップ先数	ビジネスマッチング 情報の提供件数
目標	30先(3年間累計)	年間2,000件
平成27年度上半期実績	11先(6ヶ月累計)	1,190件(上半期実績)

■ 事業承継・M&Aに関する支援体制



「地域密着型金融への取組み」の詳細につきましては、当行ホームページ (<http://www.tottoribank.co.jp>) に掲載しております。

平成27年度中間決算のご報告

業績ハイライト

平成27年度中間期の決算は、市場金利の低迷や貸倒引当金戻入益の減少などによって減収減益となりましたが、預金残高及び貸出金残高がともに順調に増加し、中間期として過去最高となりました。

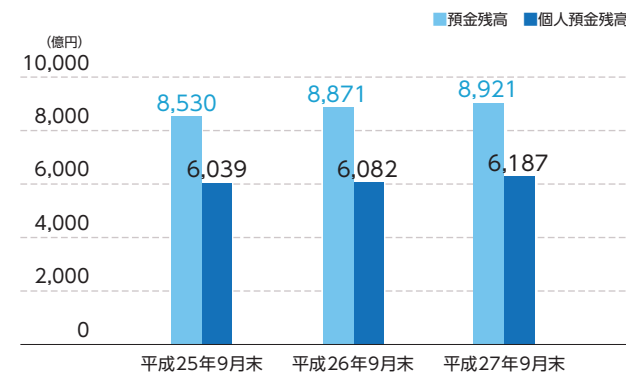
また、自己資本比率は11.24%と国内基準で必要とされている4%を大きく上回っているほか、不良債権比率も1.59%に低下し、安全性・健全性ともに高い水準を維持しています。

損益の状況 (単体)

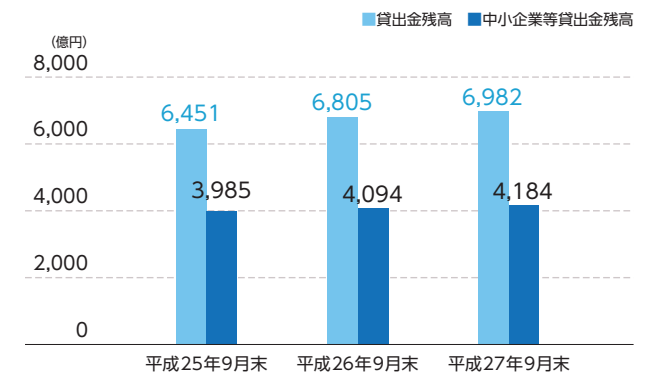
(単位: 百万円)

	平成25年 9月期	平成26年 9月期	平成27年 9月期
コア業務純益	749	1,375	1,534
経常利益	1,015	2,439	2,180
中間純利益	626	1,895	1,527

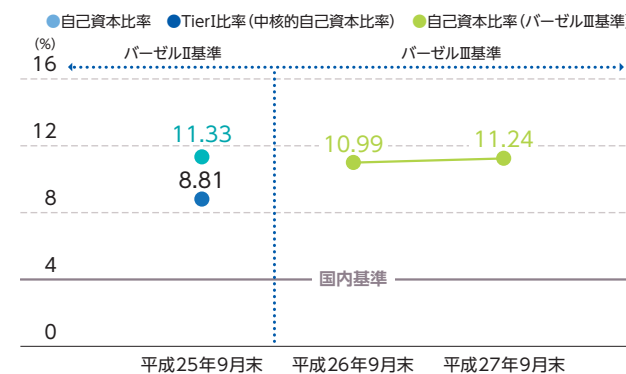
預金残高 (単体)



貸出金残高 (単体)



自己資本比率 (単体・速報値)



(注) 平成26年3月末より、パーゼルIII基準の自己資本比率を算出しております。

不良債権の状況 (単体) 【金融再生法ベース】

